

## 令和4年度 第3回学校運営協議会 議事録

日時：令和5年2月13日(月) 15:30~17:00

場所：校長室

出席者：友谷委員、西田委員、速水委員、西川委員、川上委員、山岸委員  
佐々木校長、坂口教頭、轟事務長、金子首席、永野首席、住友指導教諭

### 1. 会長挨拶

今回は今年度最終回となります。今回も様々な角度から意見ををお願いします。

#### 校長挨拶

今回は以前お示した「学校経営計画」に以前より改善点を書き加えています。  
山田高校のため意見ををお願いします。

### 2. 令和4年度学校経営計画及び学校評価について

#### 校長より

##### 3 「本年度の取り組み内容及び自己評価」について

図書館の利用については前年度比では減少しているが、要因としては①本年度より自習室が整備されたことによる図書室来室の減少が挙げられる。また、授業での図書館利用を含めると3016人まで来室人数は増えるので扱いについては今後検討していく。  
貸し出し冊数についても同様に扱いを検討していく必要がある。

自己評価の「才、行政・企業と共同でSDGsに取り組む」ことに関しては、校外に出て活動の場を広げるなど前年度より発展させることができた。

(3) 授業力の向上では、100%の教員がICTを活用しているという肯定的回答を獲得した。

「2. 豊かでたくましい人間性のはぐくみ」では、(2) 生徒会活動の活性化において「各委員会  
で年間目標の発表」を行うなど生徒主体の取り組みが出来ており良かったと思う。

#### (事務局より補足)

SDGsについては、1年次では知識学習、2年次では企業とのコラボにより深い探究活動を行ったことを報告。

- ・フェアトレードコーヒーについて
- ・使用済み切手の回収について
- ・フードドライブの取り組みへの参加 (2月メイシアターでビデオメッセージでの取り組み発表出演) など

また、2月8日には各クラスの代表がプレゼンを行い、協力いただいた企業のみなさまにも参加していただいた。

委員：SDGsはどの授業の中での探究活動を行っているのか。

事務局：「総合的な探究の時間」という授業で取り扱い、3年間で合計3単位を全員が履修している。授業担当については、全ての教科から割り振っている。

- ・万博記念公園での「ひまわりフェスタ」での参加型の取り組みや、木々の伐採などについても取り組みの裏側を見せてもらい有意義な取り組みが出来た。
- ・2年生ではクラスごとに企業とコラボした取り組みを行った。大阪モノレールでは駅のコンコースでの発表会場の提供や公式ホームページでの紹介などに協力していただいた。
- ・コラボに参加していただく企業探しに苦労すると思っていたが、企業側も意外と乗り気であったので安心した。

委員：スカートの短い生徒が増えているとのことだが、なぜか。

事務局：流行りもあるのか、ウエスト部分を巻き上げる女子生徒がいる。これは、山田高校に限らず世間一般でも多い傾向と思われる。対策としては、来年度よりスカートに2カ所刺繍を入れて指導しやすいモデルにマイナーチェンジする。

委員：「ジェンダーレス」に向けた取り組みはどうなっているか。

事務局：女子生徒でのスラックス着用は学年に2~3名である。

- ・来年度からは男子スラックスと同じデザインに変更する。制服表記も男子用・女子用からⅠ型・Ⅱ型と表記を変更していく。
- ・個別の事例にも丁寧に聴き取った上で柔軟に対応する。

### 3. 令和4年度 学校教育自己診断について

教頭より集計結果と分析の報告

- ・評価がA「よくあてはまる」、B「ややあてはまる」が75%以上は◎。概ね達成できていると思われる。評価がC「あまりあてはまらない」、D「全くあてはまらない」が40%以上は×。課題と受け止めている。
- ・体育祭・文化祭のルールについて、時間をかけて、生徒と教員間で意見交換を行い、ルールの明確化と周知を図ったため、生徒指導への納得度が改善した。
- ・教員への相談については、保健室や教育相談係と対象を限定しなかったことにより改善した。
- ・生徒の授業への満足度が高いのに、保護者がそれほどでもないことから、保護者に授業を見てもらう機会を増やしたい。授業公開の予定を来年当初に示して、参加しやすいようにしたい。
- ・学習の評価については、1年生から始まった観点別学習状況評価について保護者に周知しておく必要がある。
- ・PTA活動への参加状況については、コロナ禍前も後も変わりなく、良くないので、来年度は、「PTAがどのような活動を行っているか知っている」という質問に変更する。
- ・教員回答項目では「学校運営」に関する評価が課題である。会議などは一人一台端末活用により、ペーパーレス化、時間短縮が実現できているが、教員の多忙感は解消されていない。教員間の意思疎通の機会を大切にしていきたい。

委員：授業に対する満足度を問う質問については、生徒と保護者で統一した方がよいのではないか。

事務局：「子どもたちは授業に満足している」に変更を検討する。

委員：最近の高校生は、親子の会話はあまりないのかもしれない。そもそも、会話がなければ学校の

様子がわからなければ、質問にも答えられず、否定的な回答になる。

委員：教職員で「まったくあてはまらない」と答えている人がごく少数である。

事務局：・学校運営については、厳しい結果となった。職員室が教科別になっているので、学年で集まれる部屋がないことが課題の一つだと考える。コミュニケーションの機会を増やしていきたい。

#### 4. 令和5年度 学校経営計画案について

校長より

令和4年度と大きくは変えていない。

B T（朝学習）は継続していく。

リーディング GIGA ハイスクールに指定されたので、ICT 活用はさらに研究を継続していく。

希望進路については、一応数値目安として入れている。（国公立、関関同立の合格者数など）

「授業力の向上」については「教材の作成」「1人1台端末の研究」を課題としていく。

とにかく生徒を伸ばすために尽力していきたい。

難しい問題としては、時間外超過勤務の多い教員をなんとか減らしていきたい。

委員：図書館利用者については、1人1台端末が導入されれば図書館利用は減るのではないかと。若い人ほど本離れが加速しているかもしれない。

事務局：企業は「自分で考え、自分で行動できる人材が欲しい」と考える。ここをクリアするためにも本から学ぶ姿勢を大事にしてほしい。また、生徒は SNS など自分から発信したい傾向が強い。

委員：SNS のマナーなどについても指導しているのか。

事務局：生徒指導部から SNS の危険性についても注意喚起している。

委員：生徒の読書意欲の喚起に向けた具体的な対策はあるのか。

事務局：教員からのお薦め本紹介。生徒による校外選書など、最新刊やリクエスト本の充実などに努めている。

委員：「著名人の名言」や「キャッチコピー」など楽しい取り組みをしてはどうか。やり方は工夫すればいろいろありそう。図書館でのスタンプラリーなどはどうか。

事務局：図書館を自分の居場所としている生徒もいる。他校では「語り合いの場」なども参考に工夫していく。

委員：学校としての目標として、「情熱を持って団結できる目標設定が望ましい」、また地域一体となって応援していきたい。

事務局：野球部が近畿大会出場という快挙を成し遂げた年に、少しの意識が変われば生徒も学校も変わるということを経験した。これからも頑張っていきたい。

委員：「いじめなどの対応」については、生徒回答では高評価。保護者の回答はそうでもないが、いじめ防止のためにどのような取り組みをしているのか。

事務局：「いじめアンケート」、「安全・安心で過ごすためのアンケート」は毎年必ず行っている。

アンケートに1つでの相談があれば、聴き取りを行い、学年・教育相談・保健室などと連携することにより丁寧に対応している。生徒の背景として、学力や生活環境など似たような生徒が多く在籍していることも、いじめ等が起こりにくい要因となっているかもしれない。

## 5. 諸連絡

事務局より

- 今回も保護者からの意見書の提出はなかった。
- 本日の議事録を委員の皆さんに確認いただいたあと、HP で公開させていただく。